

システム化構想

なぜこのプロジェクトをやるの？

背景：

現在では、開発途上国の多くでは、ごみ問題に対する意識がこれから高まる傾向で、リサイクル(再生利用)対策が進むことで環境負荷は低減されてきましたが、未だに3Rに積極的に取り組むところは少ないのが現状です。

ごみの問題への関心の調査結果により、ごみ問題にどの程度関心があるか聞いたところ：

・**「関心がある」**とする者の割合が92.5%

(「非常に関心がある」29.0%+「ある程度関心がある」63.5%)

・**「関心がない」**とする者の割合が7.5%

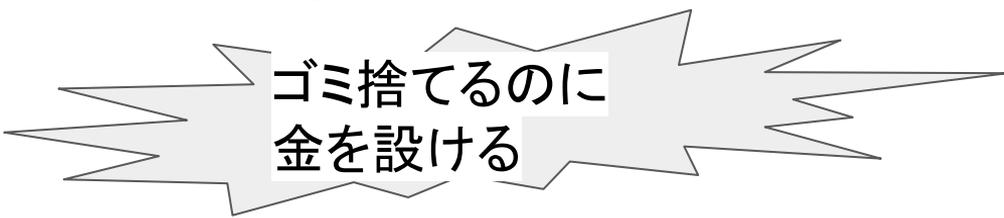
(「あまり関心がない」6.4%+「まったく関心がない」1.1%)となっている。

システム化構想

事業目的: MAKE THE EARTH GREEN AGAIN

事業領域: ハノイ市内⇒ この事業を成功すれば一般化モデルに望む

事業特徴:



ゴミ捨てるのに
金を設ける

将来の展望: 人口増加すると共に、ごみも多くなり、環境汚染の削減、リサイクルする必要な物も多く、年間経常利益2000～3000万円を取得でき、今後成長していく魅力あるビジネスを期待できる。

収益モデル:

- ・一般家庭や法人企業が処理に困っている不用品や粗大ごみを収集し、分別し、リサイクルし、販売する。
- ・販売することでその販売益を得る。

業務フロー

収集状況の管理

収集依頼

収集計画

収集

決済

ゴミ分別

リサイクルセンターへ送る

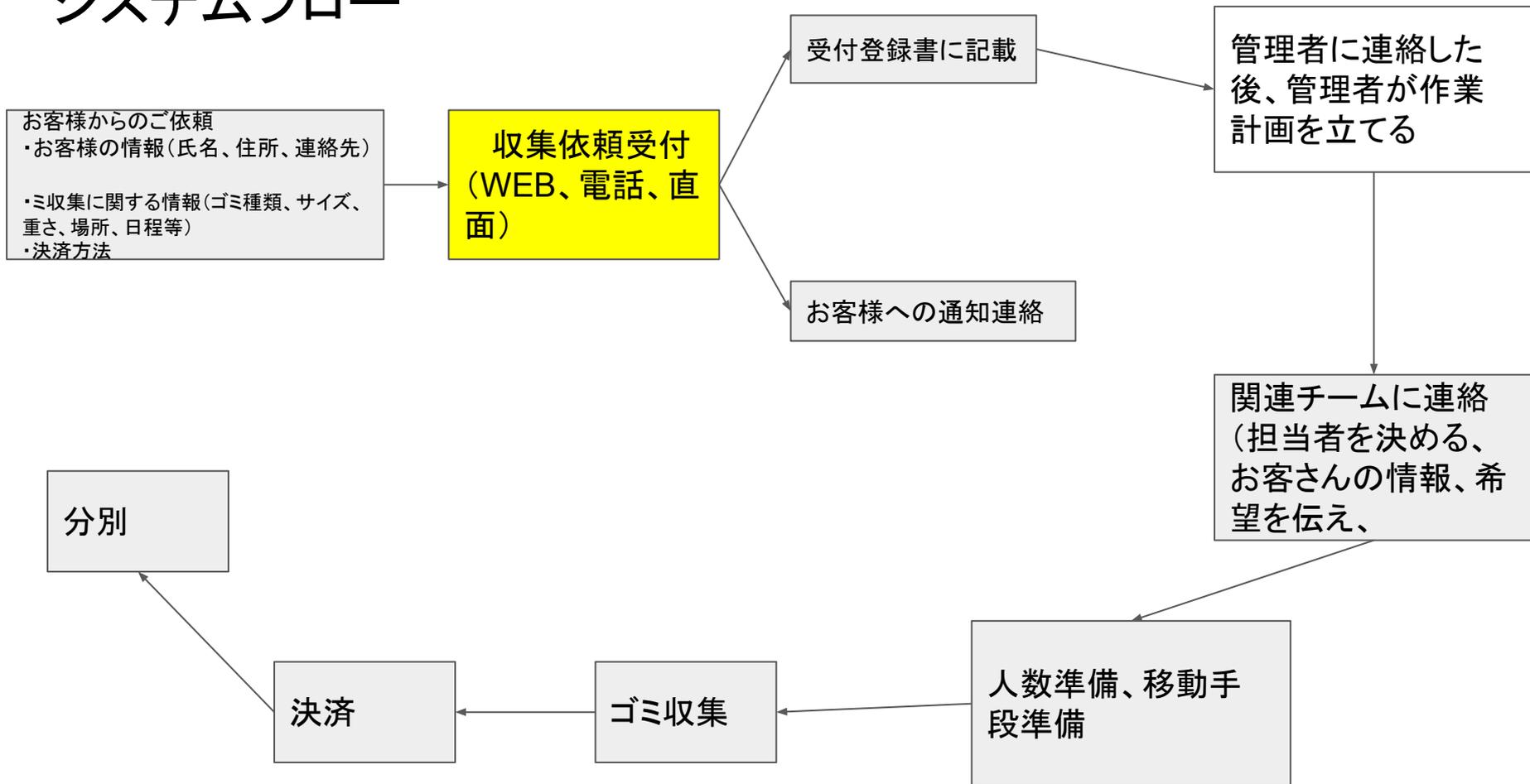
ゴミ出し者

管理者

収集者



システムフロー



お見積り

	費用項目	人	日	人月	単価(千円)	合計(千円)	
共通	環境構築	1	2	0.1	176	16	
	DB設計	1	5	0.2	176	40	
画面・機能	フロント (利用者)	ログイン画面	1	10	0.5	176	80
		ゴミ収集依頼画面	2	20	1.8	176	320
		収集予約確認画面	1	15	0.7	176	120
		新規登録画面	2	15	1.4	176	240
		通知画面	1	5	0.2	176	40
		チャットボックス	1	5	0.2	176	40
	管理画面 (管理者)	ログイン画面	1	5	0.2	176	40
		受付一覧画面	2	20	1.8	176	320
		収集スケジュール作成画面	2	20	1.8	176	320
		収集状況変更画面	1	10	0.5	176	80
	公開	お知らせ	1	5	0.2	176	40
		よくあるご質問	1	5	0.2	176	40
		お問い合わせ	1	5	0.2	176	40
検証	結合テスト、仕入れ対応	1	5	0.2	176	40	
セキュリティ	セキュリティ検査	1	5	0.2	176	40	
管理	PM, BrSE, 翻訳(30%)	1	47	2.1	176	377	
合計				12.7	176	2,233	

◆体制

- 実装: 3人
- 検証: 1人
- 管理: 1人

◆開発期間: 約2,5~3.0ヶ月

◆見積金額: 2,233,000円

※上記工数はUTまで含め

フロントエンド設計

- ユーザ登録画面
お客様の情報、ログイン情報
- ログイン画面
- ゴミ収集依頼・変更画面

お客様の情報

氏名	text box 1
住所	text box 2
メールアドレス	text box 3
電話番号	text box 4

- ゴミ収集依頼受付通知画面
収集日程、収集チームの情報
- 収集予約確認画面
収集日程、収集ステータス等
- お知らせ
セールス、収集価額変更等のお知らせ

・ユーザの場合、表示しない
・ゲストの場合、表示する

ゴミ収集に関する情報

ゴミ種類	drop down menu	収集希望日程	Date picker
ゴミサイズ	幅 Text box 6	収集住所	Text box 5
	長さ Text box 7	決済方法	<input type="radio"/> 現金 <input type="radio"/> 振込
	高さ Text box 8		
ゴミの重さ	Text box 9		Radio button

管理者

- ユーザ管理画面
- 収集依頼一覧画面
収集依頼情報、ステータス
- 収集スケジュール作成・更新画面
- ゴミ収集状況確認画面
担当収集チーム、収集状況
- 収集状況変更画面
現在の収集情報
お客様から変更が依頼された収集情報を更新する。

バックエンド設計

- ユーザDB

個人情報など(ユーザID)

- ログイン情報DB

ユーザID、パスワード

- 収集依頼DB(収集ID)

ユーザID(ゲストの場合、ゲスト情報)
収集情報(ゴミID、ゴミサイズなど)

- ゴミ種類DB(ゴミID)

- 収集ステータスDB(ステータスID)

受け入れ・処理中・管理など

- 収集スケジュールDB

ユーザID、収集ID、
チームID、ステータスID

- 収集チームDB(チームID)

収集チーム情報

要件変更

事業が拡大している内に、収集チームの専門性かつ、費用削減のために、収集チームの回収時に発生する収益(費用)を計算し、発注の最適化を目指すことになった。この際に、システムはどのように変更するか。

変更後一フロントエンド設計

- ユーザ登録画面
- ログイン画面
- ゴミ収集依頼画面

お客様の情報

氏名	text box 1
住所	text box 2
メールアドレス	text box 3
電話番号	text box 4

- ゴミ収集依頼受付通知画面
収集日程、収集チームの情報
- 収集予約確認画面
収集日程、収集ステータス等
- お知らせ
セールス、収集価額変更等のお知らせ

・ユーザの場合、表示しない
・ゲストの場合、表示する

ゴミ収集に関する情報

ゴミ種類	drop down menu	収集希望日程	Date picker	
ゴミサイズ	幅	Text box 6	収集住所	Text box 5
	長さ	Text box 7		
	高さ	Text box 8		
ゴミの重さ	Text box 9	決済方法	<input type="radio"/> 現金 <input type="radio"/> 振込	
			Radio button	

管理者

- ユーザ管理画面
- 収集依頼一覧画面
収集依頼情報、ステータス
- 収集スケジュール作成・更新画面(変更)
収集チームの選択
- ゴミ収集状況確認画面
担当収集チーム、収集状況
- 収集状況変更画面
現在の収集情報
お客様から変更が依頼された収集情報を更新する。
- 収集チーム別費用照会画面(新規)
収集チーム
ゴミ種類
収集費用
- 収集チーム適用化画面(新規)
ゴミ種類ごとに適用な収集チームを指定

変更後一バックエンド設計

ユーザDB

収集依頼DB

収集ステータスDB

収集スケジュールDB

⇒担当収集チームの項目追加

収集チームDB

ゴミ種類DB

収集価額管理DB

収集チーム最適化DB

★検討中:最適収集チームの選択を自動化する

ご清聴ありがとうございました